

第1回 芳賀・宇都宮地域交通対策協議会

議事概要

1 日時

令和6(2024)年9月13日(金) 13:30~14:40

2 場所

栃木県庁 北別館 401 会議室

3 出席者

別紙「出席者名簿」のとおり

4 議事

芳賀・宇都宮地域交通対策協議会の設立 (資料1)

(1) 宇都宮東部地域の道路交通状況について

①これまでの取組状況 (資料2)

②宇都宮市東部地域の交通量の推移について (資料3)

③WEBカメラを活用したAI画像解析について (資料4)

④プローブデータによる旅行速度等の比較 (資料5)

(2) ライトラインの利用状況について (資料6)

(3) 社会実験の内容について (資料7)

(4) 収支計画(案)について (資料8)

5 議事概要

- ・事務局から芳賀・宇都宮地域交通対策協議会の設立について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局、宇都宮大学、本田技研工業株式会社から宇都宮東部地域の道路交通状況について、宇都宮ライトレール株式会社からライトラインの利用状況について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局から社会実験の内容について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。
- ・事務局から収支計画(案)について説明し、質疑応答及び意見交換を行った。

6 主な質疑・意見

芳賀・宇都宮地域交通対策協議会の設立について

- 会長に長田委員、幹事に笹木委員、矢野委員を選出

(1) 宇都宮東部地域の道路交通状況について

○ (笹木委員)

- ・ 鬼怒通りの減少した交通量は、どこに転換されたのか、現時点での見解は？
- ・ 鬼怒通りの西進方向の交通量が大きく減少している理由は？

⇒ (事務局)

- ・ 確定的なものはないが、今回の交通量の観測地点も影響しているものと考えられ、南北方向の交通量も含め面的に計測していく必要がある。
- ・ また、車線数の影響もあるのではないかと考えている。今後、継続的に調査していきたい。

○ (福森委員)

- ・ 鬼怒通りの片側断面交通量と速度の関係で、交通量が減少したにも関わらず、速度も減少している理由は？通常、交通量が減少すれば速度は上昇するのでは？

⇒ (長田会長)

- ・ LRT がペースメーカーのように働き、LRT に合わせて走行するため、LRT 以上の速度にはなっていないのではないかと捉えている。

○ (星野委員)

- ・ どこに転換していったのか、今後も継続的に検証していく必要があるのではないか。

⇒ (長田会長)

- ・ ETC2.0 のデータを活用して行ければよいのではと考えている。

(2) ライトラインの利用状況について

質疑・意見なし

(3) 社会実験の内容について

○ (笹木委員)

- ・ 移動実態の把握では、プローブデータだけでなく、国交省所有の ETC2.0 のデータでも補完できるところは協力していきたい。
- ・ まちづくりやコンパクトシティ+ネットワーク等の構想を踏まえ、将来像を描きながら有効な社会実験として行って欲しい。

⇒ (長田会長)

- ・ この協議会では交通対策について、まちづくりから発展して交通をどう考えていくか、ということ議論できればと考えている。

(4) 収支計画 (案) について

質疑・意見なし

以上